

1. 化学物質等および会社情報

製品名：ACE4000(C)

会社名：富田マテックス株式会社

住所：〒980-0811 仙台市青葉区一番町 1-17-26

担当部門：シリコン事業部

電話番号：022-212-1171

Fax 番号：022-212-1012

緊急連絡先：電話 022-212-1171

推奨用途および使用上の制限

物質/調剤の用途:

工業用

以下の原料： エラストマー製品。

2. 危険有害性の要約

物質または混合物の分類

当該化学物質または混合物は危険有害性には該当しない。

ラベル要素 GHS 表示は要求されない。(GHS 非該当)

その他の危険

製品は水素を遊離することがある。水、アルコール、酸、金属塩、アミン、アルカリと反応して、水素を発生する危険性。発生した水素は酸素と反応して酸水素ガスを形成することがある。

3. 組成・成分情報

化学物質/混合物 混合物

化学特性 化学特性: ビニル基含有ポリジメチルシロキサン、架橋剤および反応抑制剤

シリコン

成分	含有量 (%)	化審法	安衛法	CAS No
シリコン、その他	100%	記載あるが非公開	記載あるが非公開	記載あるが非公開

本製品は、高懸念物質(SVHC) ((EC) REACH 規制 No. 1907/2006、第 57 条) を 0.1%以上含まない。

4. 応急措置

応急措置の内容

一般情報：事故や気分が悪い場合には医師の診察を受ける。その際、可能であれば製品ラベルまたは SDS を医師に見せる。

目に入った場合：直ちに 10～15 分間大量の清浄な水で洗浄する。直ちに医師の手配をし、医師に化学品名、製品ラベルなどを示す。

皮膚に付着した場合：布又は紙で拭いて取り除く。大量の水、または水と石鹼で洗う。目に見える皮膚の変化あるいは他の症

状がある場合は、医師の診察を受ける（可能であればラベルまたは SDS を示す）。

飲み込んだ場合： 飲み込んだ場合、吐かせない。水を 1 杯飲ませる。

吸入した場合：新鮮な空気を与える。

5. 火災時の措置

消火剤： 火災の場合は、消火に水噴霧、泡沫或いは炭酸ガスを用いることができる。大規模な火災の消火にはアルコール耐性の
水成膜泡消火剤 (AFFF-AR) が最適である。

使用不可消火剤： 棒状水、粉末消火剤、ハロン系消火剤。

火災時の特有の危険有害性

火災時に有害なガスや煙が発生するおそれ 燃焼生成物に曝露した場合、健康リスクを与える可能性がある！ 有害な燃焼生成物： 炭素酸化物、ケイ素酸化物、炭化水素の不完全燃焼物、有毒および猛毒ガス。水性消火剤の使用は注意を要する。水素が遊離し、換気が不十分であったり、狭い領域の中で消火後に堆積し、再度火災あるいは爆発をまねく危険性がある。泡ブランケットも同様に、水素あるいは可燃性蒸気を包含し、床面爆発に至ることがある。清掃や吸収の際には発火源を取り除く。

火災予防に関する注意

消火時に必要な保護具： 空気呼吸器を着用する。保護具を着用していない人を避難させる。

一般情報： SiH ポリシロキサン材料が関わっている火災の消火は、状況によっては困難な場合がある。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置： 漏洩エリアの安全を確保する。保護具（8 項参照）を着用する。製品が床
に飛散すると滑る危険がある。

環境に対する注意事項： 河川、海洋、湖沼、下水、土壤に流さない。

封じ込め及び浄化の方法・機材： 回収し、各自治体の廃棄処理法令等を確認して処分する。通気孔付き回収容器を使用する。滑り
り易い残留被膜は、洗浄剤／石鹼溶液又は生分解性洗剤を用いて除く。路面の状態を改良するために砂か
他の不活性粒状物を利用する。

追加情報： 火気の使用を禁止する。製品を廃棄する場合には、10 項に示される接触を避けるべき物質又は材料から隔離する。
汚染されていない材料に汚染された材料を混ぜない。「7. 取扱い及び保管上の注意」を遵守する。

7. 取扱いおよび保管上の注意

取扱い

技術的対策（局所排気、全体換気等）： 適切な全体換気・局所排気装置を設置する。洗眼設備および安全シャワーを設置する。

安全取扱注意事項： 慎重に容器を開けて処理する。十分な換気を確保する。使用していない時は容器を密閉する。10 項に
従って配合禁忌物質から遠ざける。可能な限り、プロセス装置を不活性化し、有効酸素レベルを下げるために
容器、タンク、コンテナを窒素でおおう。

火災、爆発防止の注意事項： 製品は水素を遊離することがある。容器内に製品が残っている場合には、爆発性ガスが生成する恐
れがある。引火源から離す。禁煙。製品を熱源や裸火、スパークなどの着火源から遠ざける。静電気帯
電防止対策を行う。

適切な保管条件

保管場所及び容器： 塩基性の表面を有する未使用のガラス容器に保存しない。

接触を避ける物質等： 同じ場所に貯蔵できない物質： 塩基性物質（例えば、アルカリ、アンモニア、アミン類）、酸化剤、強

酸。

その他の保管条件等：湿気を防ぐ。乾燥した冷所に保管する。十分に換気した冷所に容器を貯蔵する。

8. 暴露防止および保護措置

管理パラメータ

許容濃度： 知見無し

保護具

呼吸用保護具： 特に必要なし。

眼の保護具推奨： 側面シールド付き安全メガネ。

手の保護具推奨： 耐化学性手袋。

手袋の推奨素材： ニトリルゴム製保護手袋 素材の厚さ： > 0.1 mm 破過時間： > 480 min

手袋の推奨素材： ブチルゴム製保護手袋 素材の厚さ： > 0.3 mm 破過時間： > 480 min

手袋メーカーからの浸透性や耐用期間に関する指示を遵守する。切傷の危険、摩損、接触時間等の製品を使用する現場の特殊状況も考慮する。耐薬品防護手袋の日常使用時間は、(温度等の)多くの作用要因により、テストで確認された浸透時間よりはるかに短いことに留意する。

9. 物理的および化学的性質

外観

物理的状態： 液体

性状： 液体

色： 無色

臭い： 微臭

臭いの閾値： データなし

pH： 非該当

融点・凝固点： 該当なし

沸点、初留点と沸騰範囲： 分類対象外

引火点： 182 °C

蒸発速度： データなし

燃焼性（固体、気体）： データなし

燃焼又は爆発限界の上限/下限

爆発限界－上限(%)： 非該当

爆発限界－下限(%)： 非該当

蒸気圧： 非該当

密度： 0.97 g/cm³ (23 °C)

蒸気密度： データなし

溶解度

溶解度 (水)： 不溶性

溶解度 (その他)： データなし

n-オクタノール/水分配係数 log Pow： データなし

自然発火温度： 450 °C

分解温度: 熱分解 >250℃

SADT: データなし

粘度: 200 mPas

その他の情報

従来に知見によれば、触媒活性表面上の SiH 含有製品の自己発火は予想よりも大幅に低い温度で起こる恐れがある。断熱材のようなアルカリ性表面を有する多孔質又は繊維状物質がこれに該当する。水素の放出による爆発限界: 4-75.6vol%。追加情報 pH: 製品は中性で反応する。

10. 安定性および反応性

反応性: 通常の使用において安定。化学的安定性: 通常状態で安定。

危険有害反応可能性: データなし

避けるべき条件: 湿気。熱、火炎及びその他の着火源。汚染された配管や容器、あるいは腐食して錆びた容器との接触により水素生成が加速される。7項参照。

不適合材料

反応する物質: 酸、塩基性物質(例えば、アルカリ、アンモニア、アミン類)、アルコール、水、湿気、酸化剤、触媒。反応により発生する物質: 水素。

危険有害な分解生成物

水素。共存できない物質と接触すると、本製品は急速に大量の燃えやすい水素ガスを生成する可能性がある。約 150℃以上で酸化分解により少量のホルムアルデヒドを発生する恐れがある。

11. 有害性情報

一般情報: 本製品は、試験を実施していない。

急性毒性

暴露経路	結果/作用	生物種/試験システム	出典
経口	LD50: > 2000 mg/kg	ラット	類似製品による推定
経皮	LD50: > 2000 mg/kg	ラット	類似製品による推定

皮膚腐食性/刺激性

結果/作用	生物種/試験システム	出典
刺激しない	ウサギ	類似製品による推定

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

結果/作用	生物種/試験システム	出典
刺激しない	ウサギ	類似製品による推定

呼吸器感受性または皮膚感受性

暴露経路	結果/作用	生物種/試験システム	出典
経皮	感受性なし	モルモット; ビューラー法	類似製品による推定

生殖細胞変異原性 評価:この評価項目では本製品の試験データは得られていない。

発がん性 評価:この評価項目では本製品の試験データは得られていない。

生殖毒性 評価:この評価項目では本製品の試験データは得られていない。

特定標的臓器毒性(単回暴露) 評価:この評価項目では本製品の試験データは得られていない。

特定標的臓器毒性(反復暴露) 評価:この評価項目では本製品の試験データは得られていない。

吸引性呼吸器有害性 評価:本製品の物理化学特性からは、吸引性呼吸器有害性は予期されない。

12. 環境影響情報

有害性 評価:物理化学性状を考慮した類似製品の環境影響評価によると、本製品は分類に関連する水生生物に影響を与えないと予想される。現時点において、排水処理施設への影響は報告されていない

残留および分解性 評価:シリコン成分：生分解性は低い。沈澱による分離。

生体蓄積性 評価:ポリマー成分：有害な影響はないと予想される。

土壌中移行性 評価:シリコン成分：水に溶け難い。

PBT(難分解性、生物蓄積性および有毒性を有する) 並びに vPvB(高難分解性および高生物蓄積性)の評価結果 データなし
その他の有害作用 知見なし

13. 廃棄上の注意

廃棄物処理方法

残余廃棄物: 推奨方法：使用できない又は化学的に再生できない製品は適切な関連法令又は条例で承認された設備で廃棄する。焼却により、二酸化ケイ素微粉末が生成するので、適切な電気集塵装置等が設置された焼却設備で焼却する。また、防塵マスク等の保護具を着用する。製品を廃棄する場合には、10 項に示される接触を避けるべき物質又は材料から隔離する。本製品の廃棄物を他の廃棄物と混ぜない。廃棄物容器の圧力を開放するために通気栓のような手段を講じる。

汚染容器及び包装: 推奨：容器には危険な量の水素ガスが含まれる可能性がある。残留物との反応の可能性があるため、未洗浄の容器を他の物質用に再利用してはならない。製品の残った容器は、製品を廃棄する場合と同じ処理方法によって処分する。関連法令及び条例に指定されたりサイクルを行う前に容器を完全に空にする。

14. 輸送上の注意

国際規則

海上輸送 (IMDG Code) : 非危険物

航空輸送 (ICAO/IATA): 非危険物

国内規制 (陸上輸送)

消防法区分：危険物第 4 類 (引火性液体) , 第 3 石油類 (非水溶性液体)

危険等級： III

追加情報：運送に際しては、容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にする。

環境有害性

環境有害性: なし

使用者への特別注意事項

空輸: 安全上の理由から、内容量 1kg を超えた容器を航空輸送しないこと。

MARPOL 条約附属書 II および IBC 規則に基づくバルク輸送

タンカーによるバルク輸送は意図されていない。

15. 適用法令

化学物質排出把握管理促進法：非該当

労働安全衛生法

施行令別表第 1 危険物： 非該当

有機溶剤中毒予防規則： 非該当

通知対象物質(第 5 7 条の 2)： 非該当

表示対象物質(第 5 7 条)： 非該当

安衛法：有機溶剤等

該当しない

安衛法：特定化学物質等

該当しない

毒物及び劇物取締法： 非該当

高圧ガス保安法： 該当しない

消防法： 危険物第 4 類（引火性液体），第 3 石油類（非水溶性液体）危険等級：Ⅲ

登録状況

オーストラリア工業化学品（届出 審査）法（AICS）： y 該当（ポジティブリスト）注意：なし。

既存化学物質一覧（EU）： y 該当（ポジティブリスト）注意：なし。

日本化審法（ENCS）： y 該当（ポジティブリスト）注意：なし。

中国新規化学物質環境管理弁法（IECSC）： y 該当（ポジティブリスト）注意：なし。

韓国有害物質管理法 既存物質リスト（KECI）： y 該当（ポジティブリスト）注意：なし。

カナダ環境保護法国内物質リスト（DSL）： y 該当（ポジティブリスト）注意：なし。

カナダ環境保護法非国内物質リスト（NDSL）： n（ネガティブ [負の] リスティング）注意：なし。

フィリピン化学物質管理法（PICCS）： y 該当（ポジティブリスト）注意：なし。

米国有害物質規制法（TSCA）： y 該当（ポジティブリスト）注意：TSCA インベントリに記載

台湾化学物質清單： y（ポジティブ [正の] リスティング）注意：なし。

16.その他の情報

注意事項

本品は、一般工業用途向けに開発・製造されたものです。医療用その他特殊用途に使用される場合には、貴社においてその安全性を事前にご確認のうえご使用ください。尚、体内に埋植、注入する用途、または体内に一部が残留するおそれのある用途には絶対に使用しないでください。

詳しい情報

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報にもとづき、当該製品の取扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等を、安全に行っていただくために作成されたものです。記載されている情報はいかなる保証もするものではありませんし、品質を特定するものでもありません。また、この SDS のデータはここで指定された物質についてのみのものであり、指定されていない工程での使用や、指定されていない材料との組み合わせ使用に関しては有効ではありません。